

訪問看護師病院等研修



訪問看護師として
スキルアップできる研修



研修内容

- ✓ 講義・演習から最新の知識・技術を習得
- ✓ 1日病院実習
- ✓ 病院看護師との合同演習は連携について意見交換
- ✓ 自分の学びは自事業所で共有 など

抗がん剤の曝露対策や
CVポートの
扱い方を学びたい！

嚥下のメカニズムを
理解したい！
食事介助の
アプローチ方法を
学びたい！

最新の
スキンケアや
予防的ケアの対応を
知りたい！



病院で実際の
退院調整の流れを
知りたい！

申込期限：令和7年 **7月22日（火）** まで

申込方法：岐阜県看護協会 研修受講申込サイトマナブルより申込、または
右記のQRコードからお申込みください。
非会員の方もお申込みいただけます。

その他：研修費“無料”

ただし、実習における賠償責任保険の加入が必要になります。

※研修内容の詳細は裏面を参照ください ▶▶▶



マナブルからの申込みはコ
ス
マナブルからの申
込
マナブルからの申
込

【お問い合わせ先】 公益社団法人 岐阜県看護協会訪問看護総合支援センター

T E L : 058-274-0021

E-mail: houmon@gifu-kango.or.jp



プログラム

		時間	目標	研修内容	講師予定
第1回	10月8日 (水) 県民ふれあい会館 3階 301中会議室	9:50～10:00		オリエンテーション	研修担当者
		10:00～12:00	・病院での退院支援・退院調整を学び、 その方の生活に合わせた再調整を していくことが意識できる	【講義】 退院支援・退院調整の基礎知識 退院支援・退院調整のプロセスとシステム構築 退院支援・退院調整の実際	医療法人和光会 山田病院 看護師長 日比野 かおり 氏
		13:00～16:00	・最新の在宅での抗がん剤曝露対策と 輸液管理（PICC・CVポート等）に ついて学び、看護スキルの向上を 図ることができる	【講義】 在宅での抗がん剤曝露対策と安全な取り扱い 輸液管理（PICC・CVポート等）の基礎知識 【演習】 CVポート穿刺、抜針時のポイント 輸液ルートの固定方法	岐阜市民病院 がん化学療法看護認定看護師 近藤 仁美 氏
		16:00～16:15	・実習の目的を理解し、スムーズに実習 に臨める	・病院実習についてのオリエンテーション	研修担当者
第2回	11月11日 (火) 県民ふれあい会館 3階 301中会議室	9:50～10:00		オリエンテーション	研修担当者
		10:00～12:30	・摂食嚥下機能のアセスメントについて学び、 アプローチの方法が理解できる	【講義】 摂食嚥下障害の基礎知識 アセスメント方法について 【演習】 アプローチの実際	地域訪問看護 福ふく 摂食・嚥下障害看護認定看護師 鈴木 みどり 氏
		13:30～16:00	・最新のスキネクアを学び看護スキルの 向上を図ることができる	【講義】 最新の褥瘡ケア・スキネクアの治療と看護 継続できる褥瘡ケア 在宅で起こりやすいスキントラブル 【演習】 予防的スキネクア・スキネクア 治療的ケアの対応	小笠原訪問看護ステーション 管理者 皮膚・排泄ケア認定看護師 前田 由紀子 氏
		16:00～16:15	・実習の目的を理解し、スムーズに実習 に臨める	・病院実習についてのオリエンテーション	研修担当者
第3回	12月～ 1月	1日実習 実習時間は、病院の 勤務時間等に準じる	・病院における退院調整について理解し、 医療ケア等について最新の知見を得る ことができる	【実習】 病院での実習・見学実習 ・地域連携室 ・病棟 ・外来 等	地域の病院にて
第4回	2月5日 (木) 県民ふれあい会館 5階 特別研修室	9:50～10:00		オリエンテーション	研修担当者
		10:00～12:00	・地域包括ケアに関わるさまざまな職種の 役割と機能について理解できる ・地域の社会資源について理解できる	【講義】 地域包括ケアシステムにおける多職種連携で看護師に 求められること ・関係機関、関係職種との連携、介護支援専門員の 立場から ・社会資源と福祉制度	ケアプラセンターひだまり創 管理者 安達 智紀 氏
		13:00～16:00	・それぞれの現状・課題や専門性を理解し 相互に連携できる関係を構築すること ができる	【演習】 訪問看護実践研修との相互研修 合同研修の目的： 『看看連携の実際を振り返り、それぞれの立場を理解し 合い、今後の円滑な連携に活かすことができる。』	<ファシリテーター> ・訪問看護師 ・病院・地域連携室看護師 等
第5回	第4回研修後から 2月27日(金)までに実施 (各職場にて日程調整)		・研修での学びを自施設で報告し、 看看連携や多職種連携・退院調整・ 看護技術を共有できる	・自施設において研修内容の共有をおこなう ・実施の経過・結果についてレポート作成し提出（様式あり）	

※感染症等の影響により、実習の中止・実習日が変更となる場合があります。